

審判の日と、自らの清算を省みること

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ
يَا أَيُّهَا النَّاسُ اتَّقُوا رَبَّكُمُ وَأَخْشَوْا يَوْمًا لَا يَجْرِي
وَالِدٌ عَنْ وَالدِّهِ وَلَا مَوْلُودٌ هُوَ جَارٍ عَنْ وَالِدِهِ
شَيْئًا...
وَقَالَ رَسُولُ اللَّهِ صَلَّى اللَّهُ عَلَيْهِ وَسَلَّمَ:
أَكْثَرُهُمْ لِلْمَوْتِ ذِكْرًا وَأَحْسَنُهُمْ لِمَا بَعْدَهُ
اسْتِعْدَادًا أَوْلَعِكَ الْأَكْيَاسُ.

尊敬すべきムスリムの皆様！

全能のアッラーは、人類に二つの生を授けました。ひとつめは、私たちがいま生きている試練の場での生です。死を迎えるとこの世での生は終わり、来世の生が始まります。死は決して存在の終わりを意味するものではありません。むしろ、それは永遠の生の始まりです。

親愛なるムスリムの皆様！

時が来れば、私たちの生きるこの世の人生が終わり、永遠の来世が始まります。人は死からよみがえり、復活の場所に集まり、神の大いなる意志によって審判の秤が置かれます。その日は、清算の日です。

その日、隠されたものか明らかなものか、善か悪かを問わず、すべての意図と行為があらわになり、すべての人が次の言葉を聞くことになるでしょう。「あなたの記録を読みなさい。この日、あなたの清算はあなた自身で十分である」。ⁱ

その日、私たちは口をきけず、代わりに手足が話すでしょう。私たちの主（スブハーナ ワ タアラー）が、この真実を次のように告げておられます。

「この日、われらは彼らの口を封じる。彼らの手がわれらにものを言い、彼らの足が、自分たちの得てきたことを証言する」。ⁱⁱ

この日、不当に扱われる者は誰もおらず、ただ自分の行いに対する報いだけを得ます。生きていた間に何をしたか、若さや、身に付けてきたもののこと、どのように財産を得て何に費やしたのか、知りえた知識で何をしたかなどを尋ねられるまで、身動きする者は誰もいないでしょう。ⁱⁱⁱ

親愛なる信仰者の皆様！

アッラーと審判の日を信じる信仰者にふさわしいのは、清算を迎える前に自らの清算について考えることです。信仰者は、この世を遊びや楽しみの場所としてではなく、私たちの主（スブハーナ ワ タアラー）のお喜びを得るための場所としてみるべきです。完全にまっすぐなイスラームの道、クルアーンのみちびき、そして私たちの預言者（彼の上に祝福と平安あれ）のスナナから決して逸れてはなりません。

本日の金曜礼拝のホットバを、次の章句をもって終わります。「人々よ。あなたがたは主を畏れなさい。そして親が子に報いることも、子が親に報いることもできないその日を恐れなさい。本当にアッラーの約束は真理である。それゆえ現世の生に欺かれてはならない。アッラーについて欺く者に、欺かれてはならない」。^{iv}

ⁱ Isra, 17/14.

ⁱⁱ Ya-Sin, 36/65.

ⁱⁱⁱ Tirmidhi, Sifat al-Qiyamah, 1.

^{iv} Luqman, 31/33.